

原木きのこ栽培管理チェックシート

茨城県農林水産部林政課

- (1) 出荷制限等が指示された市町村における生産者の方は、必ずチェックシートに基づいた栽培管理を行うこと。
- (2) チェックシートはロット毎に作成すること。
(ほだ場、植菌年、原木の産地が違う場合は別ロット)
- (3) 取組事項ごとに、「管理した年月日」、必要に応じて「コメント」を記載し行わなかった事項は斜線を記載すること。
- (4) の取組事項については、必ず実施すること。【必須工程】
それ以外の取組事項は放射性物質の影響を低減するための取組事項のため積極的に取組むこと。【重要工程】

※国のガイドラインの変更等により、取組事項を見直すことがあります。

【栽培品目： (露地・施設栽培)】

氏名					
住所					
連絡先					
ロット管理No.		ほだ場住所			
植菌年		原木の産地		原木本数	本
原木・ほだ木の検査結果 (チェックシート①、②又は⑤)		発生前ほだ木の検査結果 (チェックシート⑨)		きのこの検査結果 (チェックシート⑫)	
年 月 日		年 月 日		年 月 日	
Bq/kg		Bq/kg		Bq/kg	

原木きのご栽培管理チェックシート

必須工程

番号	工程	区分	取組事項	管理した年月日	コメント	
①	自伐、立木購入の原木の管理	購入時の確認、取扱	指標値(50Bq/kg)以下の原木を使用する		Bq/kg(検査日)	
			粉塵、土、腐植層など付着、接触しないように、原木をブロックなどの上に置き、シートで覆う			
②	購入原木の管理	購入時の確認、取扱	指標値(50Bq/kg)以下の原木を使用する		Bq/kg(検査日)	
			粉塵、土、腐植層など付着、接触しないように、原木をブロックなどの上に置き、シートで覆う			
③	原木の洗浄	原木の放射性物質量の低減	流水しながら洗浄機、高圧洗浄機、ブラシ等により原木を除染する			
			洗浄時に発生した、沈殿物・浮遊物を濾過し回収する			
④-1	野外	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う		空間線量率 μ Sv/h	
		放射性物質の低減	原木、ほだ木はシート、ブロックなどの上に置き、直接地面につけない			
			種菌は室内に保管する			
			植菌作業は地面に接触させず、シートなどの上で行う			
			使用器材はシートなどの上に置き、直接地面と接触させない			
④-2	植菌	施設内	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う	空間線量率 μ Sv/h	
			環境整備	表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷く		
				施設(ハウス)周辺にスギ・ヒノキなど常緑針葉樹林がある場合、枝葉を除去する		
				既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行う		
				ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にする		
		施設(ハウス)内専用の履き物を用意する				
		放射性物質の低減	原木・ほだ木を施設(ハウス)内に持ち込む場合、原木・ほだ木に付着した粉塵、土などを洗浄する			
			ハウス内の清掃、洗浄を行う			
			種菌は室内に保管する			
			原木・ほだ木はシートやブロックなどの上に置き、直接地面につけない			
⑤	購入ほだ木の管理	購入時の確認、取扱	指標値(50Bq/kg)以下のほだ木を使用する		Bq/kg(検査日)	
			粉塵、土、腐植層など付着、接触しないように、ほだ木をブロックなどの上に置き、シートで覆う			

番号	工程	区分	取組事項	管理した年月日	コメント		
⑥-1	野外	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う		空間線量率 μ Sv/h		
		環境整備	下層植生、落葉等腐食層、表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷く				
			スギ、ヒノキなど常緑針葉樹林内の場合、遮光も勘案しながら枝葉を除去する				
		放射性物質量の低減	直接スギなど枝葉から垂れる雨水が当たらないように、ほだ木を列ごとにシートで覆う				
			ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけない				
			ほだ木への土の跳ね返りを防ぐため、砂利、木材チップ、かや、シートなどを敷く				
			散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用する		Bq/kg(検査日)		
			山水を使用する場合は、放射性物質の値を確認し、浮遊物、沈殿物を除いて使用する		Bq/kg(検査日)		
			貯水槽は洗浄後使用し、ふたをする。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理する				
		空間線量率の高い場所からの風を入れないように防風ネットを活用する					
		⑥-2	施設内	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う		空間線量率 μ Sv/h
				環境整備	表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷く		
					施設(ハウス)周辺にスギ・ヒノキなど常緑針葉樹林がある場合、枝葉を除去する		
既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行う							
ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にする							
施設(ハウス)内専用の履き物を用意する							
放射性物質量の低減	原木・ほだ木を施設(ハウス)内に持ち込む場合、原木・ほだ木に付着した粉塵、土などを洗浄する						
	換気は必要最小限にし、風下側で行うようにする。換気施設はフィルターをつける						
	ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけない						
	ハウス内の清掃、洗浄を行う						
	散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用する				Bq/kg(検査日)		
	ハウス外の貯水槽は洗浄後使用し、ふたをする。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理する						

番号	工程	区分	取組事項	管理した年月日	コメント
⑦-1	野外	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う		空間線量率 μ Sv/h
		環境整備	下層植生、落葉等腐植層、表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷く		
			スギ、ヒノキなど常緑針葉樹林内の場合、遮光も勘案しながら枝葉を除去する		
			既存人工ほだ場は必要に応じ、遮光ネットの張り替え、洗浄を行う		
		放射性物質量の低減	直接スギなど枝葉から垂れる雨水が当たらないように、ほだ木を列ごとに寒冷紗・遮光ネットで覆う		
			ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけない		
			ほだ木への土の跳ね返り防止のため、砂利、木材チップ、かや、シートなどを敷く		
			散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用する		Bq/kg(検査日)
			山水を使用する場合は、放射性物質の値を確認し、浮遊物、沈殿物を除いて使用する		Bq/kg(検査日)
			貯水槽は洗浄後使用し、ふたをする。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理する		
			空間線量率の高い場所からの風を入れないように防風ネットを活用する		
		原木クリタケ栽培などで覆土などする場合、汚染していない赤玉土、鹿沼土など使用する			
		⑦-2	本伏せ 施設内	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う
環境整備	表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷く				
	施設(ハウス)周辺にスギ・ヒノキなど常緑針葉樹林がある場合、枝葉を除去する				
	既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行う				
	ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にする				
	施設(ハウス)内専用の履き物を用意する				
放射性物質量の低減	原木・ほだ木を施設(ハウス)内に持ち込む場合、原木・ほだ木に付着した粉塵、土などを洗浄する				
	換気は必要最小限にし、風下側で行うようにする。換気施設はフィルターをつける				
	ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけない				
	ハウス内の清掃、洗浄を行う				
	散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用する				Bq/kg(検査日)
	ハウス外の貯水槽は洗浄後使用し、ふたをする。貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理する				
	原木クリタケ栽培などで覆土などする場合、汚染していない赤玉土、鹿沼土など使用する				
⑧	ほだ木の洗浄	ほだ木の放射性物質量の低減	浸水、洗浄機、高圧洗浄機、ブラシ等によりほだ木を洗浄する		
		洗浄時に発生した、沈殿物・浮遊物を濾過し回収する			

番号	工程	区分	取組事項	管理した年月日	コメント					
⑨	発生前ほだ木の管理	ほだ木の放射性物質検査	指標値(50Bq/kg)以下のほだ木を使用する		Bq/kg(検査日)					
		⑩-1	野外	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う		空間線量率 μ Sv/h			
				環境整備	下層植生、落葉等腐植層、表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷く					
					スギ、ヒノキなど常緑針葉樹林内の場合、遮光も勘案しつつ枝葉を除去する					
					既存人工ほだ場は、遮光ネットの張り替え、洗浄を行う					
				放射性物質量の低減	直接スギなど枝葉から垂れる雨水が当たらないように、ほだ木を列ごとに寒冷紗・遮光ネットで覆う					
					ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけない					
					ほだ木への土の跳ね返り防止のため、砂利、木材チップ、かや、シートなどを敷く					
					浸水、散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用する		Bq/kg(検査日)			
					山水を使用する場合は、放射性物質の値を確認し、浮遊物、沈殿物を除いて使用する		Bq/kg(検査日)			
					浸水槽、貯水槽は洗浄後使用し、ふたをする。浸水槽、貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理する					
					空間線量率の高い場所からの風を入れないように防風ネットを活用する					
				原木クリタケ栽培などで覆土などする場合、汚染していない赤玉土、鹿沼土などを使用する						
				⑩-2	発生休養	施設内	空間線量率の測定	空間線量率の測定を行い、空間線量率の低い場所で行う		空間線量率 μ Sv/h
							環境整備	表面土壌を取り除き、砂利、木材チップなどを敷く		
								施設(ハウス)周辺にスギ・ヒノキなど常緑針葉樹林がある場合、枝葉を除去する		
								既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行う		
ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にする										
施設(ハウス)内専用の履き物を用意する										
放射性物質量の低減	原木・ほだ木を施設(ハウス)内に持ち込む場合、原木・ほだ木に付着した粉塵、土などを洗浄する									
	換気は必要最小限にし、風下側で行うようにする。換気施設はフィルターをつける									
	ほだ木はブロックや枕木などの上に置き、直接地面につけない									
	ハウス内の清掃、洗浄を行う									
	浸水、散水する水は放射性物質の値を確認した井戸水、水道水を使用する									
	ハウス外の浸水槽、貯水槽は洗浄後使用し、ふたをする。浸水槽、貯水槽に堆積したごみは回収し、汚染物として処理する									
原木クリタケ栽培などで覆土などする場合、汚染していない赤玉土、鹿沼土など使用する										

番号	工程	区分	取組事項	管理した年月日	コメント
⑪	収穫	放射性物質量の低減	収穫物は、収穫後すみやかに室内に保管する		
⑫	きのこの管理	きのこの放射性物質検査	食品の基準値以下であることを確認する		Bq/kg(検査日)
⑬	乾燥	環境整備	既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行う		
			ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にする		
			施設(ハウス)内専用の履き物を用意する		
		放射性物質量の低減	乾燥は室内で行い、天日乾燥しない		
			乾燥機、エビラ、床は使用ごとに清掃する		
⑭	選別・包装・保管	環境整備	既存施設(ハウス)は、シートの張り替え、洗浄を行う		
			ハウスのシート、施設(ハウス)の出入り口を二重にする		
			施設(ハウス)内専用の履き物を用意する		
		放射性物質量の低減	選別・包装は室内で行う		
			包装資材は室内で保管する		
	使用機材、作業台、床は使用ごとに清掃する				
共通		ロット管理	ほだ木のロット管理を徹底する		
		体内への放射性物質の取込防止	帽子、マスク、手袋、長靴を着用する		
			手足、顔など裸出部分を石けんなどで洗浄する		
		使用機械等の放射性物質量の低減	使用した機械、機材、資材は使用後に洗浄し、放射性物質が付着しないように保管する		
		放射性物質汚染物の処分	処分場へ処分する。産業廃棄物は処理業者へ委託する		
			処分場が決まっていない場合、仮置き場を設置し、まとめて保管する。その際、シートなど被せる		
トレーサビリティ対応	生しいたけ栽培は3年間、乾しいたけ栽培は5年間記録、保存する。しいたけ以外のきのこは発生年数を考慮して記録、保存期間を設定する				

放射性物質低減のための原木きのこ栽培管理フローチャート

